



クローズアップ
CLOSE UP

思い思いの仮装で行列

10月29日、街中はまえばしハロウィンの仮装行列で大にぎわいに。今年は昼と夜の2部構成で行いました。行列前の仮装コンテストでは大人も子どもも思い思いの仮装をアピール。行列後にはお菓子のプレゼントも。参加者にはうれしいお土産となりました。



伝統の技と芸能を体感

10月22日と23日にヤマダグリーンドーム前橋などで日本の技体験フェアと郷土芸能大会を開催。全国各地の多彩な文化財保存技術と市内で受け継がれてきた伝統芸能が一堂に会しました。訪れた人たちは、歴史と風土に育まれた伝統文化の世界を楽しみました。



見て聞いて健康学ぶ

前橋プラザ元気21で、10月30日に健康フェスタを開催。健康相談やクイズ、講演会などを行いました。クイズコーナーでパネルをヒントに真剣に悩んだり、相談コーナーで初めて知ることには驚いたり。実際に体験や試食をして、楽しく健康を学びました。



いきいき
まえばし人
戸所仁治さん・67歳
人権擁護委員として
法務大臣表彰を受賞
総社町二丁目



問題解決の道しるべとして

5期15年にわたり人権擁護委員として活動。昨年から市人権擁護委員会会長も務め、今年10月、長年の功績が認められ、法務大臣表彰を受けた。人権擁護委員の活動の柱は人権相談や啓発活動など（関連記事4ページ）。戸所さんは弁護士としての業務の傍ら、人権相談を中心に取り組む。心掛けていけるのは、できるだけ休まないこと。

「本来業務もあるため、全ての活動に参加できるわけではありませんが、人権相談は自分の業務で培った見識を生かせる部分。一度の相談で全て解決とはいきません。まずは、相手の話をしっかり聞き、事実関係などを確認し、次の段階への道筋を示す。そうやって、相手の気持ちを少しでも安心させられればと思っています」

家庭内の問題、近隣間のもめ事など相談内容は多岐にわたる。それだけに、広い視野に立った考え方が欠かせない。「価値観が多様化している現代社会では、物事の感じ方は人それぞれです。その中で気持ちよく生活するためには、互いを思いやる気持ち、これが大切です」

多忙な日々を過ごす戸所さん。表彰を活動継続のモチベーションに、これからも悩みを抱えた人の話に耳を傾ける。

「おいしいサンドイッチを作りませんか」「いいね」。こんな会話からスタートした食のプロジェクト。そう単純ではなかったと後々思うことになりました。

アーティストのジル・スタツサルさん、アーツ前橋学芸員の五十嵐さん、そして私。ひげ面の3人がスペシャルサンドイッチを作るプロジェクト。まず、サンドイッチのイメージやストーリーを組み立てる中で、すてきな生産者と時間を共有することができました。そして、勢多農林高の協力で産学官連携の地域で組み上げるスペシャルサンドイッチプロジェクトがスタート。個人的で独創的な食材の組み合わせに多少の不安はあったものの、知恵を出し合い、作品「わたしたちそのものをた



サンドイッチは1日5食限定で提供は来年1月17日(火)まで。

べる」が完成しました。この作品、おいしいだけではなく、ありません。パンやチーズなど、どの食材からも、出上がるまでのストーリーを意識し、私たちが何でできているかを考える時間を持つことができるのです。

人間力の連続でさまざまな物や事を創成する可能性と、私たちがたくさんの宝物を地域に持つていることを強く感じた怒濤の7カ月。思いのこもった作品を、あなたもぜひ、味わってみてください。

vol.04
ART STORY
広がるアーツ前橋



第4回はアーツ前橋併設のカフェ・ロブソンコーヒーオーナーの山本誠さんが開催中の企画展に関連し、食とアートについて語ります。

アーツ前橋
027-230-1144